



No.71 民主主義国家日本ではできない？



(写真引用元 Forbes)

世界いっせいにコロナの猛威にさらされて、各国政府の対応の違いとその結果が少しづつ明確になってきています。

発生して間もなく力づくで押さえ込んだ中国。当初マスクに抵抗感のあったイギリスは爆発的感染に直面して完全ロックダウンを実施、やっと落ち着き始めています。

マスクが嫌いなトランプのもとでアメリカは世界最悪の感染者・死者数を記録し、バイデンとワクチンの登場でやっと終息に向かい始めました。

コロナに泣き言を言うなと感染対策に敵意剥き出しのボアソナロは、ブラジルの死者数を世界第2位に押し上げ、ぎゅうぎゅう詰めの宗教行事を強行したインドは、その後最悪の事態を迎えてしました。

これからどうなるか、何が正解かはまだ分かりませんが、日本人はこの事態から何を学ぶのか。

日本は欧州のような強権的な都市封鎖はできないとか、中国のような独裁的な全国民のデジタル管理はできないとか、いろいろ議論があります。日本のPCR検査にしてもワクチン接種にしても、関係者が自分のできる範囲で一生懸命努力しているのを見ると、私は成果に多少の遅れや齟齬があってもいちいち咎める気がしません。

しかし安全、安心、安定をこの上なく大事にしている多くの日本人。その日常生活がパンデミックによって壊れるとき、有事対応の持つ意味をあらためて考えさせられます。



普段の生活には厳然とした秩序があって、それが安全安心な日常を送る前提となっています。できれば平穏な日常を壊したくない。だからその秩序を守ろうとすると、普段と違うことをやろうとしてもできることばかりです。

人が足りないから、モノがないから、予算がないから、法律があるから(法律がないから)〇〇はできない！「できない」理由は山のようにあります。

でもこの非常時にそれで大丈夫？

できないってほんと？

みんながやったほうがいいと思うんだつたら、できるようにルールを変えればいいんじゃないの..

国民の理解がなければできない…確かにそうです。多くの国民は平時の秩序を壊すことになると臆病です。本当はやるべきだけでも国民のコンセンサスがないから「できない」と言う人がいるかもしれません。

しかし本当に非常時だったらやらざるを得ないこともある。それが「できない」という人は、みんなの気が変わるまで放置するのだろうか？

「できない」のではなくて、やろうとしていない、つまり、やるという集団としての意思決定ができないだけではないか？

有事となるとリーダーには強烈なリーダーシップが求められます。人の意見を聞くことはあっても、最善手を一旦決断すれば、反対者がいてもやらざるを得ない。そうでないと国や集団の存続が危うい。だからこそ有事なのです。

最善手かどうかはやってみなければ分かりません。しかし意思決定が遅れることは致命的。パンデミックであれ戦争であれ、国民多数が仕方ないと思うまで「できない」状態が続くとしたら、日本は生き残れるだろうか。